

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370301315
事業所名	生協あじまの家グループホーム

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目: 2)	評価
	小学生の職場体験や保育園児との交流が定例化しつつある。高校生(希望者)による職場体験の受入れもを行っている。ホームの夏祭りや地域むけの認知症勉強会には、地域の方にも声をかけており、参加してもらっている。散歩など外出する時には、近所の方と挨拶を交わしている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目: 3)	評価
	2か月に1回実施している。メンバーには家族のほか、医師やいきいき支援センター職員、地域の方も参加している。ホームの状況や入居者の様子、目標達成計画の進捗状況について報告し、意見やアドバイスをもらっている。現在、ボランティアが少ないことから、ボランティアの増員について話し合うことが多い。	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目: 4)	評価
	市主催の講習会には職員が参加している。書類の提出関係等で市を訪問した際には、指導や助言を得ている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目: 6)	評価
	家族会を設けており、家族の参加が多い。家族会学習会では認知症についての勉強等を行っている。家族の来訪時には要望や意見を聴くようにし、また、家族の状況に合わせ電話で連絡を取り意見をうかがっている。毎月、個人毎に便りを作成しており、担当者がコメントを記載している。今回の家族アンケートの結果については、改善できることから検討を進めている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価						

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。